

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 費 項：教育総務費 目：教職員人事費

事業名【新】学校保健推進体制支援事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 高校教育課 県立学校教員人事係 電話番号：058-272-1111(内8668)

E-mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,793 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,793	2,495	0	0	0	0	0	0	5,298
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

大規模校に勤務する一人配置養護教諭の業務量は、役割の変容・増大も相まって非常に多く、現代的健康課題を抱える児童生徒に対するきめ細やかな対応が困難な状況であり、業務支援が急務となっている。そのため、経験豊富な退職養護教諭等を学校に派遣して業務支援等を行うことを通じて、①子どもへのより一層きめ細やかな対応、②養護教諭の負担を軽減を図る。

(2) 事業内容

1人配置の大規模校(収容定員が600～800人)に対し、最繁忙期である4月～6月にかけて、退職養護教諭等を派遣する。

- ・対象校数：21校(収容定員が600～800人の県立高校)
- ・対象時期：最繁忙期である4月～6月(13週)
- ・勤務時間：9時間/週(1日3時間×3日)

(3) 県負担・補助率の考え方

県費 2/3
国補助 1/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬	7,113	報酬 地域手当 @2,810×117h×21校=6,905千円 208千円
共済費	24	労災保険 24千円
旅費	656	旅費 @800×3日×13週×21校=656千円
合計	7,793	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育ビジョン
「基本方針3 『健やかな体』の育成」
目標17 健康教育・食育の推進
- 「基本方針4 『学びの多様なニーズに応える環境』の充実
目標25 優れた教職員の確保と資質・指導力の向上」
- ・教職員の働き方改革プラン2023

(2) 国・他県の状況

現代的健康課題に対応するための健康教育の推進
・学校保健推進体制支援事業

(3) 後年度の財政負担

有

(4) 事業主体及びその妥当性

対象が県立高等学校

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

1人配置の大規模校に養護教諭を派遣し業務支援等を行うことで、養護教諭の負担を軽減するとともに、子どもへのより一層きめ細やかな対応を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①養護教諭の在校 等時間外勤務時間 (4月～6月)	25:07	/	/	10:00	0:00	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
令和 3 年度	
令和 4 年度	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	2人配置校に比べ、1人配置の大規模校では、生徒に対するきめ細かい支援が不十分である。加えて、養護教諭の業務負担が多い。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 1人配置の大規模校に養護教諭を派遣し業務支援等を行うことで、子どもへのより一層きめ細やかな対応を図るとともに養護教諭の負担を軽減する。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 非常勤講師の配置による在校等時間外勤務時間の効果を踏まえ、配当時間、対象校について精査する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	